

本書には下記のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

ページ	行や場所	修正前	修正後
70	下から10行目 分母の R の数値	286.99	287.2
	下から2行目	$\dots = mc_v(T_2 - T_1) \dots (500 - 315.7)$	$\dots = mc_v(T_2 - T_3) \dots (315.7 - 500)$
	下から1行目	$\dots = 4.60 \text{kJ}$	$\dots = -4.60 \text{kJ}$
71	3行目	$\dots (315.7 - 500) = -4.60 \text{kJ}$	$\dots (500 - 315.7) = 4.60 \text{kJ}$
	5行目	\dots 内部エネルギーを合計 \dots	\dots 内部エネルギー変化を合計 \dots
	表中	10.35 , 4.60 , -4.60 , 4.60	1.15 , -4.60 , 4.60 , -4.60
	11行目	内部エネルギーは, \dots	内部エネルギー変化は, \dots
	12行目	\dots その値は経路によらず \dots	\dots その変化量は経路によらず \dots
157	図 5-19 右図	$S [\text{J/kg}]$	$S [\text{J/K}]$
171	16行目	湿り飽和蒸気	湿り蒸気
173	8行目	圧縮液	圧縮水
176	下から7行目	$v''_2 =$	$v_2 =$
177	問題6	476.0kPa	476.10kPa
185	10行目 (式(6-29)の2行上の行)	\dots 次式 \dots	\dots ギブスの式 \dots (側注に説明挿入) ギブスの式 この式は、式4-72で表されるギブスの式を作動流体の単位質量あたりで表現したものである。系内部での状態変化における各状態量の間になり立つ関係を表しており、閉じた系であるか開いた系であるかということにかかわらず適用できる。
188	3行目	$1.0 \times (3099.9 - 134.7)$	$1.0 \times (3097.38 - 134.83)$
192	下から1行目	$h_1 = h_1'' =$	$h_1 = h_1' =$
199	2行目	湿り飽和蒸気	湿り蒸気
199	4行目	湿り飽和蒸気	湿り蒸気
208	注8の3~4行目	\dots 熱発生が生じる。	\dots 熱が生じる。
221	注5の9行目	$0\% \leq \phi \times 100[\%]$	$0\% \leq \phi \leq 100\%$

ページ	行や場所	修正前	修正後
230	下から 12 行目	図 7-22	図 7-21
244	付表 - 2 の 0.01℃の s'' の値	9.15594	9.15549
251	6-1 ドリル問題 5	0.0198	0.01908